

2015年1月15日
在リオデジャネイロ日本国総領事館

リオ州の安全情報(2015年1号)

空港アクセス・ルートにおける自動車強盗の多発について(続報)

昨年末にお伝えしました、リオ市中心部とガレオン国際空港とを結ぶ「リーニャ・ベルメーリャ(LINHA・VERMELHA)通りにおける集団強盗事件(アハスタウン)についてですが、発生現場の直近に位置する第22州軍警察部隊が集中的に警備を強化しており、12月19日以降、アハスタウンの発生報告はありません。

一方で、リオの安全情報(2014年38号)において、空港への迂回路として、AV・BRASIL(アベニーダ・ブラジル)等を利用する可能性について言及していましたが、昨日(14日)、同通りのマンギーニョス(Manguinhos)地区(スラム街)付近において、バスジャック事件から犯人グループと警察との銃撃戦に発展し、死傷者が出る事件が発生したほか、本年に入ってから、同通りで数件の強盗被害の報告を受けています。

引き続き、出張やご旅行の方をを受け入れる際には、可能な限り、深夜、早朝の便の利用を避けてもらうとともに、当館の安全情報等を参考にしながら、危険回避のための最善の措置を取るようにならしてください。

【当館からのアドバイス】

- 当地では、気をつけていても強盗に遭うことがあります。強盗に遭った際には、決して抵抗せず、相手の指示に従うようにして下さい。
- タクシー乗車事を含め、車内の外部から見えるところに貴重品等が入ったカバン等を置かないようにしましょう。
- 常に強盗に遭うことを想定して、捨て金(概ね100~200R\$)を所持することも大切です。